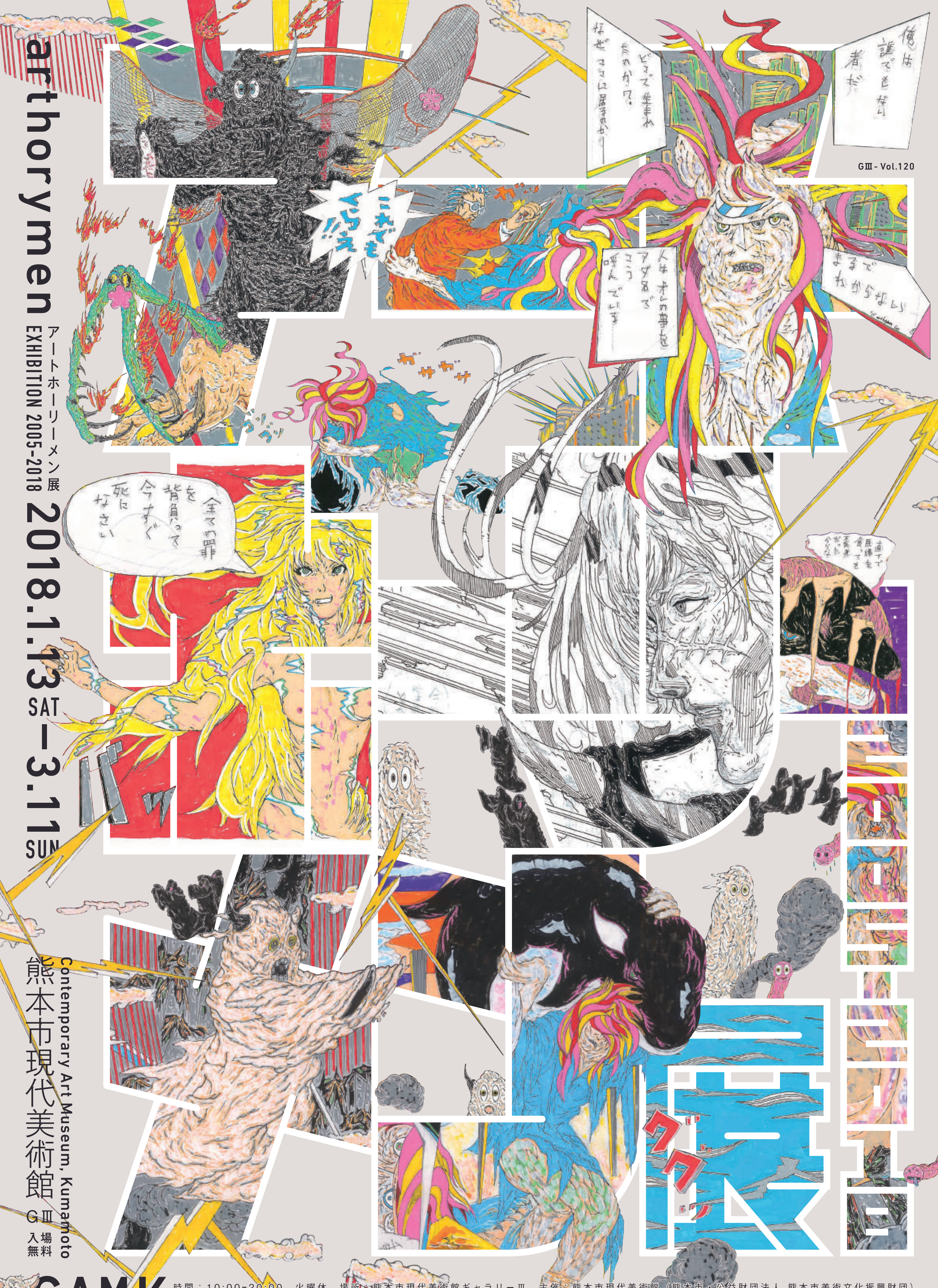
arthorymen

アートホーリーメン展

EXHIBITION 2005-2018

2018.1.13 SAT – 3.11 SUN

GⅢ - Vol.120


アートホーリーメン展
2005-2018
俺は誰でもない者だ
ビルで生まれたのか?。なぜここに居るのか―
人はオレの事をアダ名でこう呼んでいる―
まるでわからない
これでもくらえ!!
全ての罪を背負って今すぐ死になさい
グググ

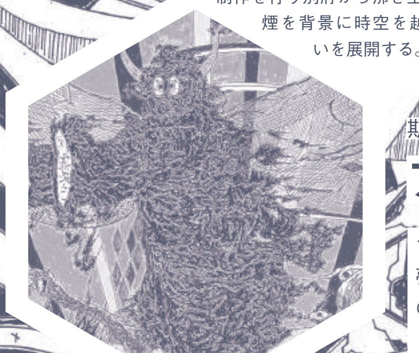
Contemporary Art Museum, Kumamoto
熊本市現代美術館
GⅢ 入場無料

CAMK

時間：10:00-20:00　火曜休　場所：熊本市現代美術館ギャラリーⅢ　主催：熊本市現代美術館（熊本市・公益財団法人 熊本市美術文化振興財団）
〒860-0845　熊本市中央区上通町2-3びぷれす熊日会館3階TEL096-278-7500　FAX 096-359-7892　www.camk.or.jp

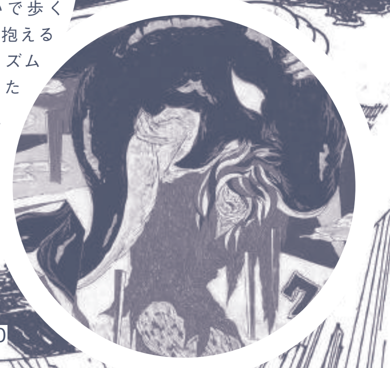
『ANIMIーZOOM（アニミズーム）』2009-2017

現代美術を通じてアニミズムに迫るシリーズ。2009年には「巨岩」、2015年には「洞窟」、2016年には「煙」をモチーフに展開された。天岩戸神話の源になったと推測されている7000年前の鬼界カルデラ巨大噴火による噴煙、1945年の原子爆弾による２つのキノコ雲の煙、アートホーリーメンが2016年に滞在制作を行う別府から沸き上がる無数の湯煙を背景に時空を越えた戦いを展開する。



『HORYMANと鯱』2005-2012（2014）

メモ用紙サイズから2メートルに及ぶサイズまで、大小約200点からなるドローイング群を、コマの拡大など、マンガ的な手法を用いて表現するインスタレーション。　アートホーリーメンによってこの世に誕生した物語の主人公「HORYMAN」は、不死の改造を施され世界を彷徨っています。複数の目や体中に縫い目がある異形の者として存在し、鯱を食料として担いで歩くHORYMANには、例えば戦後日本が抱える多様な病巣が、またあるいはアニミズムや捕鯨問題など、複雑に絡み合ったさまざまな思いが込められている。



期日:2018年1月13日㊏ ー 3月11日㊐

GⅢ-Vol.120

アートホーリーメン展 2005-2018

1973年、熊本県御船町に生まれたアートホーリーメンは、マンガ家になることを夢見つつ、高校卒業後、フリーターをしながら夜間大学に通い、美術作品などの制作を行っていましたが、32歳の時、自分の分身とも言えるゾンビ‘HORYMAN（ホーリーマン）’が活躍する『HORYMANと鯱』の制作をきっかけに、「アートホーリーメン」と名乗るようになります。
その後、極めて遅い制作ペースながらも、『ANIMI-ZOOM』、『BARAMAN』などの長編作品を、自宅に引きこもりつつ、コツコツと手がけて発表を続け、2014年には、第17回岡本太郎現代芸術賞特別賞を受賞しています。
コミュ症、ニート、引きこもりの言葉に代表されるように、アートホーリーメンは、いわば、現代社会における、‘日の当たらない側’ の人間であり、「美術が社会とつながる最後のツール」だと語っています。「仕事も金もなく、彼女もいないけれど、美術だけはいつも自分を待ってくれている」。そんな‘負け組のスター’、アートホーリーメンによる引きこもりの逆襲を、どうぞ皆さんお楽しみください。

（熊本市現代美術館教育事業班主査 坂本顕子）

［アートホーリーメン］1973年熊本県に生まれる。主な個展に、2015年「BARAMANチル篇1/ANIMI-ZOOM」（Bambinart Gallery、東京）、「One Wall Art project」（オーラルケア（株）、東京）、2012年「HORYMANと鯱」（Bambinart Gallery、island MEDIUM、nap gallery、いずれも東京）。主なグループ展に、2014年「第17回 岡本太郎現代芸術賞展」（川崎市岡本太郎美術館、神奈川）、2010年「熊本アーティスト・インデックス」（熊本市現代美術館、熊本）等がある。受賞歴として、2014年「第17回 岡本太郎現代芸術賞」特別賞、2009年「トーキョーワンダーシード」入選。

アートホーリーメン　撮影：小野峰靖

『BARAMAN（バラマン）』2013-

『BARAMAN』はホーリーメンが愛好するマンガやアニメをマッシュアップしたようなイメージで制作するドローイング群。舞台となる架空の未来風都市では、核融合炉から高圧縮化された水蒸気を作り出し電気を送電する『電管』というシステムが動く。『BARAMANチル篇』では、原爆投下から100年後、地下世界で生きる高校生チルを主人公に、地下＝過去におりていき、戦前の日本を見つめ直すことをテーマとする。

関連イベント

アーティスト・トーク
1月13日（土）14:00–15:00
ギャラリーⅢ内　参加無料
※会期中は、随時作家が在廊します。

ワークショップ
「カッティングシートで光線をつくろう」
2月17日（土）14:00–16:00
アートホーリーメンと一緒にカッティングシートを使って、美術館のなかに、自分だけのカッコいい空間を作り出してみるワークショップです。参加無料。子どもから大人まで、定員10人。要予約

熊本市現代美術館CAMK

アートホーリーメン展 2005-2018